

# 三菱電機のエネルギーソリューションビジネス展開

太田完治\* 古田克哉\*\*\*  
森 健志\*\*  
穎川剛志\*\*

Development of Solution Business for Energy of Mitsubishi Electric Corporation

Kanji Ota, Takeshi Mori, Takeshi Egawa, Katsuya Furuta

## 要旨

三菱電機は、グローバル企業として、地球環境に一層貢献することを標榜(ひょうぼう)し、下図に示すように“環境管理”“エコプロダクツ”“環境貢献事業”の好循環による環境事業の強化と全社環境経営の向上に取り組んでいる。

社内では、地球温暖化防止対策として、自主行動計画“2010年度に1990年度比売上高当たりのCO<sub>2</sub>排出量を25%削減する”を1997年に立て、各工場が売上高当たりのCO<sub>2</sub>排出量を毎年1.5%削減する環境計画に基づいて、CO<sub>2</sub>排出削減を実践している。残り7年となった今(2004年度初め)、更に削減が必要なCO<sub>2</sub>排出量は4.6万t-CO<sub>2</sub>である。これを4つの施策で削減する。

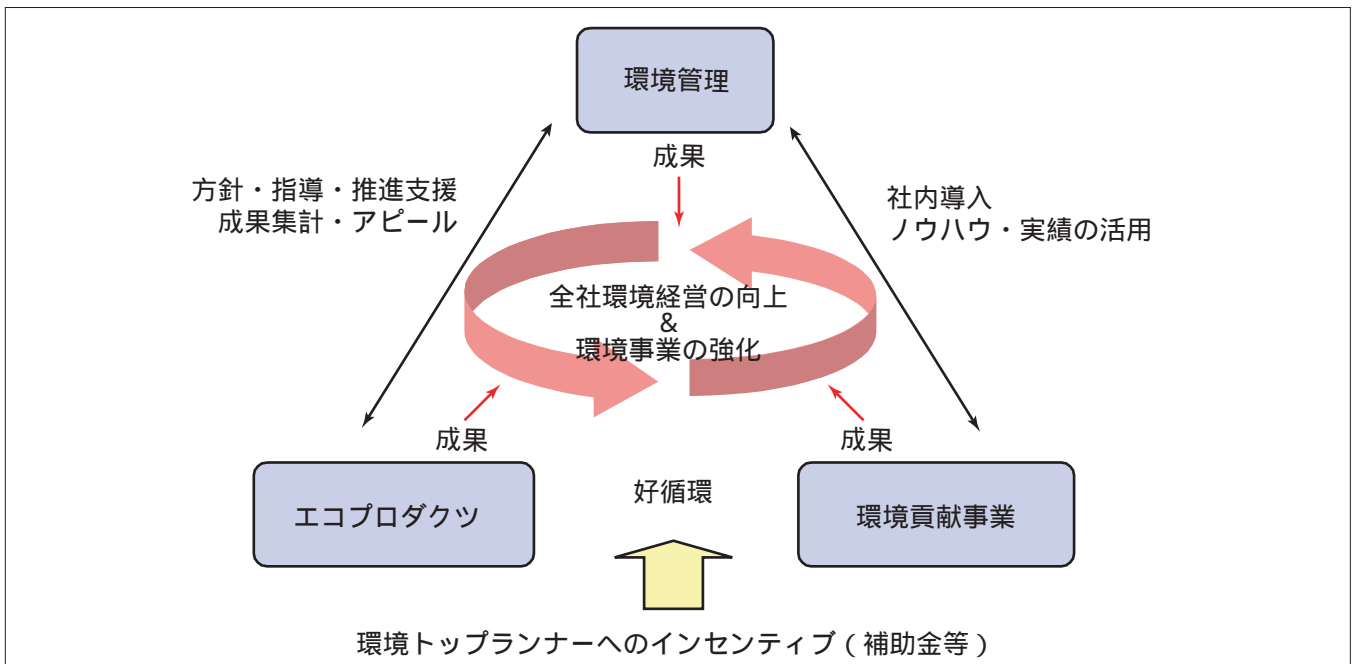
この社内取り組みの中で、積極的に自社製品を活用するとともに、製品開発サイドへの活用事例・成果のフィードバックを徹底している。それは、トップランナーを目指した継続的技術開発と合わせて関連製品の強化にも一役買っている。

これにより、エネルギーの上流から下流までをカバーす

る幅広いエコプロダクツ群を取りそろえているほか、社内での実績を応用した省エネルギー診断、運営管理、改善支援等の幅広い事業を展開している。併せて、CO<sub>2</sub>削減効果/省エネルギー効果の大きい工場を中心に、省エネルギーモデル工場として整備し、エコプロダクツを総合的に提案する場として広く公開している。

また、1999年7月からはエネルギーソリューション事業を開始し、ESCO(Energy Service Companies)のアプローチで様々なタイプのコジェネレーションを手掛ける中で、現在までに8件の最優秀賞を獲得している。

今後も、当社は、電機メーカーとして新エネルギー等の技術開発にも注力し、進めるエネルギーソリューションビジネスを、地球環境の改善や国の政策にも合致した総合的施策・提案を含む事業モデルと考える。また、省エネルギーだけでなく、エネルギー・環境貢献事業をグローバルレベルで展開していく。



## 当社の環境経営強化のコンセプト

当社は、全社環境経営の向上と環境事業の強化を図るため、“環境管理”“エコプロダクツ”“環境貢献事業”の好循環を目指している。環境規制への遵法等の対応を図るとともに、規制を活用してエコプロダクツ施策を策定し、戦略的に推進できる体制を構築する。一方、社内省エネルギー推進活動成果を環境貢献事業に活用する。